第5回 DIAS-GRENE-ei　　環境情報統融合フォーラム
ビッグデータが拓く持続可能で活力ある社会

新たなビジネス展開を支えるビッグデータ

2015年10月25日

東京大学医学部鉄門記念講堂

株式会社三菱総合研究所

科学・安全政策研究本部長
関根　秀真

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

ビックデータの考え方

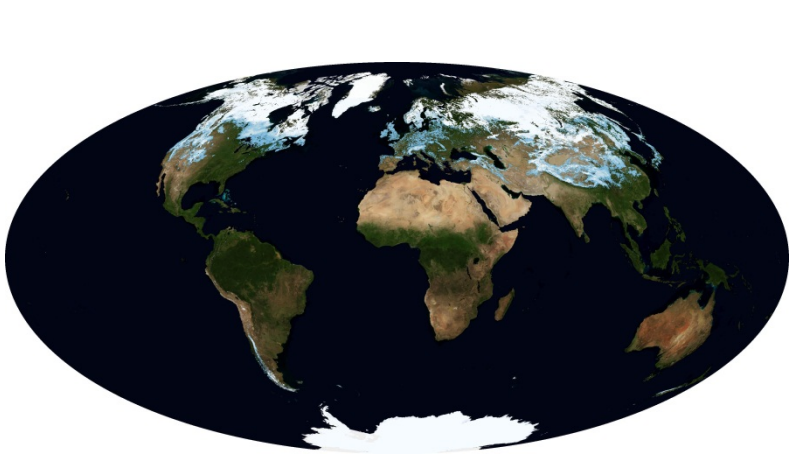
Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

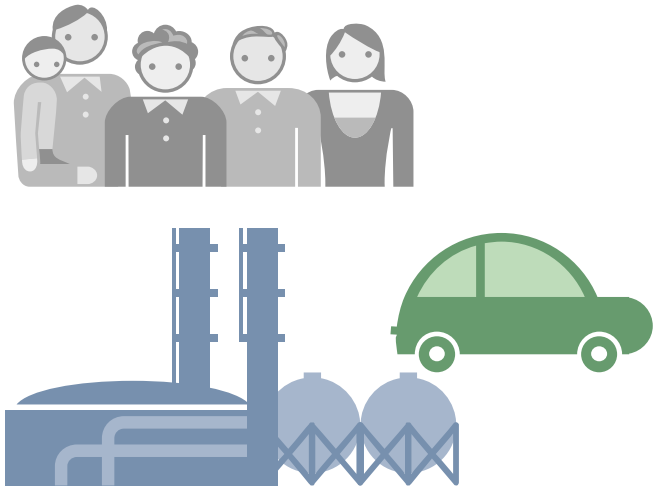
一般的なビックデータの活用

- 課題認識が(比較的)明確であり、価値の源泉が説明しやすい
- 時間軸が秒・分～年レベルであり、事業における行動タイミングと一致している。
- データと活用先が同一（あるいは類似）であり、PDCAが回しやすい

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

環境・自然ビックデータ活用の難しさ

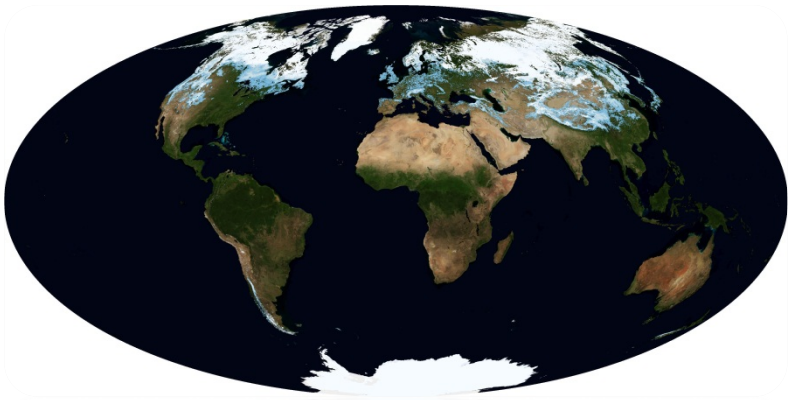




- 一次産業、自然災害等を除き、自然・環境データと事業・行動との関係性が複雑で価値を明確に説明しづらい。
- (特に気候変動データは)広域かつ時間軸が長く、事業における行動領域＆タイミングと一致させることが難しい場合が多い。
- データと活用先が異なっており、PDCAが回しにくい。

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

環境・自然ビックデータのビジネス展開？



自然科学データと
社会・経済データの統融合

相互関係の理解深化

企業の目的

- 新たなサービス・事業の創造
- 業務の効率化・最適化
- 売上の伸長・拡大

公共的利益

純粋民間事業

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

ビジネス展開における３つの課題

データ権利の明確化と納得性

- 観測データ、解析データの権利規則の統一
- オープンデータ化の促進
- 民間データ活用・統融合推進のための制度設計

データ利用を支えるインフラ整備と安定性

- 民間ユーザーが活用・事業化しやすいUI、開発・利用環境・条件の整備
- 長期的なデータ提供・インフラ運用の保障
- インフラ維持に必要となる資金循環のためのスキーム形成

ビジネス機会の創出と持続性

- 環境・自然ビックデータと社会・経済ビックデータの結合推進
- 研究者と民間事業者との連携・協力のための「場」の形成
- 規制・制度とのリンケージ

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.

今後のビジネス展開に向けて

意思決定を実現する情報

地球環境情報
統融合プログラム
DIAS
Data Integration & Analysis System

GRENE-ei

民間事業者

科学的成果の集約

データ基盤の提供

ネットワーク形成

民間データ活用

自然科学に強い
データサイエン
ティスト育成

社会・市場ニーズ
の創出と事業化

ビックデータ

課題

Copyright (C) Mitsubishi Research Institute, Inc.